

◎7月14日(日) 単独例会

大阪・京都府境の山「**ポンポン山** (679M/**加茂勢山**) へ」に参加して

旗振支部 勝田 徹  
写真 吉野 宏

久しぶりに県外の山行例会「大阪・京都府境の山/ポンポン山(加茂勢山)」に参加した。

梅雨シーズンで当日の予報が雨模様で心配したが、朝5時40分会長より電話が有り、「神戸・大阪・京都と降水確率は全部違うので、参加を楽しみにしている会員は結構集まりよると思うから、とりあえず高槻へは行くで！旗振支部の皆さんはどうするのか？一応連絡しとくから頼むわ！」・・その後6時、NHK大阪の降水確率が70%になっているけど？・・と思いながらも足早に家を出た。そして午前8時30分、JR高槻駅に着いてみると、なんと32名が集合していた。

久しぶりに来た高槻は、昔のイメージが払拭され、京都～大阪間のほぼ中央に位置するベッドタウンとして大きく発展しているなと強く感じた。・・登山口となる「**神峰山寺(かぶさんじ)**」



スタート地点の標識

までは高槻駅北側から原大橋行のバスに乗り、**神峰山口**で降車する。8時54分発のバス乗車予定だったが、数名がその前のバスに乗って先に行ってくれたおかげで全員座ることが出来た。神峰山口バス停にて降車。会長挨拶もそこそこに出発。田植えの終わったのどかな道をゆっくり歩く。少し小雨がパラついてきたが、大した

ことは無く、30分足らずで神峰山寺の山門入口前に到着。天台宗の仏教寺院であるこの寺は、日本で最初に毘沙門天が安置された霊場で晩秋は紅葉の名所として知られているとのこと。



神峰山寺(かぶさんじ)山門

トイレ休憩の後出発。ここからは説明にあったように、**東海自然歩道**を歩くのであるが、舗装された道なので最初は歩きやすく楽だと思っていたが、なんのなんの本山寺までの約1時間でかなりの汗を放出？・・水分補給の為の休憩をこまめにとってくれてはいるが、身体がなかなか元に戻らない！・・「**熱中症**はカンカン照りの時よりも、こんな時の方がなりやすい！」・・と会長より説明を受けたことが思い出される。

本山寺からはやっと山らしい道となった。この地点の標高が500メートルなので、スタート地点から380メートル登ったことになる。山頂まではあと180メートルか！・・と安心するとバテテしまうのである。途中の**夫婦杉**(高槻の古木)まで頑張れば、後は斜度が緩くなる・・。と説明があったが、その手前で、Nさんの足が



幽玄の山中を進むヒヨコ隊

ツリだした。少し休んで処置を施し、無理せずゆっくりと歩くようにする。ラストを任せられた以上、責任感を持って対処するのがサブリーダーの務め！・・・と気持ちの上では分かっているが、不安な気持ちは正直ある。しかし、ここはヒヨコの伝統である「仲間の絆」が自然と発揮され、ベテランのM嬢？、K嬢？、ニューサークル仲間のM氏、K君がしっかりとサポート。皆さんが待ってくれていた「夫婦杉」に無事到着した。



霊験あらたかな「夫婦杉」いや「ヒヨコ杉」？

途中から引き返し見に来てくれた会長の判断で、ご本人には食事をこの場所でするよう、そして、水分補給をしっかりと！・・・と指示して頂きしばし休憩に入った。ヒヨコ会員の日頃の行いの良さ？か、それとも晴男・晴女のパワーか？・・・は解らぬが、幸いにも大雨にならず、パラパラの小雨が通り過ぎた程度でラッキーであった。



美女と野獣（ポンポン山の熊？さんと4人の美女）

Nさんも元気を取り戻し、皆さんが待つ山頂を目指す。約20分程の遅れであったが、無事ポンポン山頂に到着。皆さんの元気な声に迎えられて、ホッとした。



ポンポン山山頂にて

一度耳にすれば忘れられないユニークな山名「ポンポン山」。山名の由来が又面白く、「山頂で飛んだり、四股（シコ）を踏んだりすると、ポンポンと音がした」というのが一般説とのこと。なるほど、飛んでみたら、少し音がしたような？・・・しなかったような？・・・。



下りは京都府側の杉谷まで急降下。平地に出るまでは、倒木や足元の悪さのためかなり速度を落として歩いてくれたので、ラストも皆さんについて行けたが、舗装路に出ると、1時間に一本しかないバスに間に合うようにと、会長の速足が始まる！・・・そのおかげで、なんとか無事に善峯寺バス停発2時24分に間に合い、全員車上の人となった。最後になったがラストのサポートにご協力頂いた、皆さんに感謝です！

【追記/会長】

例会委員会で示している降水確率については基本は兵庫県南部・中部方面の山行であり、県北部や県外の山については今後の課題としたい。（総務委員会にて検討）